

(原子力安全・保安院が発信したメール)

平成24年8月6日 9時57分発信

関係者各位

標記の件について、関西電力大飯発電所4号機に係る情報がありましたのでお知らせします。

本日(8月6日(月))8時12分、大飯発電所4号機の中央制御室で、安全設備のいずれかの機器の停止を知らせる警報「安全系CC(コントロールセンター)負荷トリップ」が発生しました。

現場確認の結果、大飯発電所4号機非常用ディーゼル発電機室に貯まった廃水を2時間に1回程度排水するポンプ2台のうち通常使用しているA号機が停止したため警報が発報したものです。

その後、8:44頃、自動的にもう一台のB号機が起動し、排水は問題なく行われています。

なお、8:23に警報はリセットされています。

本件は、原子炉の運転や、非常用ディーゼル発電機の機能に影響を与えるものではありません。

また、外部への放射性物質による影響はありません。

現在、停止したA号機について、原因を調査中です。

現在、保安検査官が情報収集を行っています。

以上